

学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

週1~2回更新中。
ぜひご覧下さい。



文責 内海忠裕

令和6年5月15日

異年齢で育ちあうもの

- ◆ 小学校では、発達段階が異なる異年齢での活動も行われています。異年齢での活動はとりわけ、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）が発揮され、向上するチャンスといわれます。上級生は、年齢や経験の差が「主体性」や「自信」、「欲求や行動の抑制」を伴う行動を引き出し、他者への親切や思いやりも顕著になります。一方、下級生は「あこがれ」や「尊敬」を自然と感じ、自分の未来のモデルとして認識することもあります。教師が介入することを極限まで減らし、子ども同士の関わりを観察し、意味づけることを、弘道小学校では大切にしています。
- ◆ 5月2日（木）には、「1年生を迎える会」が児童会主催で行われました。5年生が1年生を教室まで迎えに行った時のことです。「かわいい〜。」1年生と手をつないで待っているとき、5年生から口々に聞こえてきた声です。会が始まると、6年生が1年生にインタビューします。1年生は自分の名前と好きなものを答えていきます。兄弟姉妹がいる場合は、紹介しました。楽しいゲームの時間は、人数集めゲームをしました。太鼓の音の数だけ、違う学年の人と集まっていくゲームです。異学年の子ども達が集まり、楽しい時間を過ごしました。これから縦割り遊びや縦割り掃除が始まります。異年齢での活動を通して、人間関係を広げていってほしいと願っています。

 <p>5年生に手をつないでもらって入場します。</p>	 <p>6年生にインタビューしてもらいました。</p>
 <p>いろんな学年と集まりました。声をかけてもらってうれしかったです。</p>	 <p>最後は20人以上で集まりました。楽しかったなあ。</p>

学校運営協議会（コミュニティスクール）の取組

◆ コミュニティスクール5年目

5月13日に学校運営協議会が開催されました。今年も4回の会合で協議を重ねながら、弘道小学校が地域に開かれた学校づくりを推進できるよう、地域や保護者の皆様と一緒に取組を進めます。

◆ 合言葉は「つながる 広がる 弘道大好きっ子」

学校運営協議会は、地域コーディネーター、PTA 会長、PTA 副会長、校友会会長、弘道コミュニティ協議会会長、区長協議会会長、子供育成協議会会長、民生委員、CSディレクター、校長の10名で構成されています。学校運営方針を承認し、課題に対して役割分担しながら協働・連携した取組を行っています。学校を含む地域で、どのような子どもを育てるのか、何を実現していくかという目標やビジョンを共有していきます。

◆ 人のつながりの中で育ち合う子どもたち

学校運営協議会の取組のおかげで、弘道小学校の子どもたちは、地域の人とのつながりの中で、育っています。本当にありがとうございます。

【学びを支える取組】	【安全安心を支える取組】	【地域をつなぐ取組】
読み聞かせ（図書ボランティア）	防犯見守り活動（弘道子どもを守る会）※	弘道わくわくクラブ（弘道コミュニティ）
環境体験（谷山川育む会、環境ネット出石）	子ども110番の家（弘道子どもを守る会）※	あいさつ運動、資源ごみ回収（PTA）
伝承教室（大名行列保存会）	通学路安全点検、危険箇所改善要望（弘道子どもを守る会）※	秋祭り子どもだんじり（地域）
郷土学習（出石焼学習）	飛び出し人形設置、補修、点検（PTA）	環境体験事業
文化芸術事業、運動会支援、奉仕作業（PTA）	交通安全教室、登校指導、校外指導（PTA）	弘道コミュニティ事業
低学年学習支援（学校支援ボランティア）	学校環境美化活動（出石建築組合ボランティア）	地区、地域事業
図書館整備、花壇整備（学校支援ボランティア）		子供会行事

※弘道子どもを守る会（区長協議会長・校友会会長・子供会育成協議会長・出石幼PTA会長・弘道小PTA会長・学校）



学習支援ボランティア



防犯ボランティア



弘道わくわくクラブ